

学校行事参加型＋講演会型＋在宅取組型（小学校）



「話そう!語ろう!
わが家の約束」運動

学校名等	恵那市立中野方小学校
実施日時	平成28年12月3日(土)14:00～15:00
会場	中野方小学校 音楽室
参加人数	約70名(全保護者)
学習課題(分野)	子どもの理解と関わり方(子ども理解)
運営者の願い	ここ数年何回か「情報モラル」に関する研修会で、子どもを取り巻く状況や親の対応について考えてきました。そこで、今年度は「家庭の中で子どもとどのように関わるか」という原点に戻って、関わり方を見直すよいきっかけにしたいと願い内容と講師を決定しました。ほめる効果などもしっかり学び、家庭での対応を考えていきたいと思ひます。



講話を聞いて、保護者が子どもとの関わりの中で「〇〇してみようかな」と感じたこのタイミングで、在宅取組型（「話そう!語ろう!わが家の約束」運動）をプラスされています。関わり方を見直すきっかけに、という願いが、具体的な活動に後押しされて一歩踏み出しやすくなるのが期待されます。

学 習 の 内 容

<PTA会長挨拶>担当:PTA会長

※ここで、運営者の願いをしっかりと伝えられました。

<講師紹介>担当:母親委員長

<講演会>

テーマ■子どもの理解と関わり方

講師■宮島 恵子氏

(学校心理士・特別教育支援士)

◇レジュメより

- 1 はじめに(子どもが発信する行動や言葉には、意味がある)
- 2 小学生の心理
- 3 子どもを知るとは
- 4 子どもの行動の持つ意味
- 5 関わり方
- 6 おわりに(真の気持ちを「分かろうとする心」が、一番の理解者となる)



講演会の様子



講演会の後にあるクラス懇談会にて、講演会を基にした「子育てサロン型」がプラスされた学級があります。現在の子どもの様子の交流だけでなく、保護者自身が今後どのようにしていきたいのかを交流の中で考え、イメージを持ちながら帰宅できるようにされたことで、講演会が最大限活かされます。

<閉会>担当:母親委員長

※閉会の言葉の中で、「話そう!語ろう!わが家の約束」運動についての説明がされました。講話のレジュメの裏に、あらかじめ「話そう!語ろう!わが家の約束」運動の取組例を掲載し、取り組みやすい工夫がなされています。

※この日の流れは、授業参観⇒講演会⇒クラス懇談会です。

講演会内では時間の関係で「子育てサロン型」はできませんでしたが、次のクラス懇談会で、「感想」や「わが家の子どもとの関わり方」等について話をさせていただくように、教頭先生から担任の先生方に投げかけがなされていました。

<アンケートより>

- 大切な子どものことを、ほめる必要性を分かっているながらも、注意することばかりが増えていたのを改めて実感しました。ほめてあげた時の笑顔はとて素晴らしい笑顔をしています。心にしっかりとその笑顔を刻んで、これからはほめる日々を増やしていきたいと思ひました。少しの成長も嬉しく思える親になりたいです。
- わが家には3人子どもがいて、3人とも性格や発達スピードが違います。思うようにいきませんが、1人1人の関わり方を考えながら接していきたいと思ひました。ちょうど今、このテーマで悩んでいました。とても参考になる話で、少し前向きな気持ちになれました。
- 先生のお話を聞いて、自分が子どもだったころのことを思い出しました。母親に叱られた際に理由を問われ、言葉で伝えたくてもどのように話せばよいのか迷い黙っていると、「何で言わないの!ちゃんと口があるのだから言わなくちゃ分からないでしょ!」と。今、自分が子どもに言っていることそのままでした。忙しさにかまけて同じことを自分もしているのだなと、今日のお話で痛感しました。子どもをちゃんとみているのだろうか…と振り返ることができ、素晴らしいお話を聞けてとても勉強になりました。
- とても分かりやすく現実的なお話でした。今までの子育ての反省をしたり、父母間で今後の子育ての話をしたりできました。少しずつ始まっているのかな!?と思われる反抗期の対応の不安も少し解消されましたので、よかったです。

この背景には、役員さんと教頭先生(指導者)、教頭先生と担任教諭(学校全体)の素晴らしい連携があります。



<アンケートより>からわかるように、ほとんどの参加者が感想用紙にしっかりと記入し提出され、振り返りの機会とされています。

役員さんが代表となり、保護者目線での思いや願いが参加者にしっかりと伝わっていることで、それぞれが主体的に受け止められていることがわかります。保護者同士の素晴らしい関係性が築かれています。